

# RDP横浜依存症家族教育プログラム

長い間依存症者が引き起こす様々な問題行動に振り回されてきた家族は、心身共に困惑、疲弊し、的確な判断とそれに伴う対応が難しくなっています。教育プログラムに参加して病気としての正しい知識との適切な関わり方を身に付け、孤立や不安を軽減し落ち着いた健康的な生活を取り戻すことを目的としています。

また、家族も治療に参加することは、本人の回復に役立つだけではなく、家族自身ももう一度自分自身の生き方を問い直し、解決課題を見出し、自分自身のケアが出来るようになります。そして、自分と当事者との間に境界線が引けるようになり、お互いを大切にしながら、新たな関係性を築くことを目指すようになっていけるでしょう。

※ ここでいう家族とは、血縁関係や婚姻関係にあるものに限定されるものではなく、友人やパートナーシップを結んでいる相手、或いは雇用関係を結んでいるものまで、当事者にとって大切な存在の人たちのことを幅広く意味しています。

特定非営利活動法人RDP理事長

谷川 公一

## 《 プログラム年間スケジュール 》

A:教育プログラム編 B:実践プログラム編

|        |     |                                     |                            |  |
|--------|-----|-------------------------------------|----------------------------|--|
| 2024年  |     |                                     |                            |  |
| 4月24日  | A-1 | 小林 桜児<br>(県立精神医療センター・医師)            | オリエンテーション(別枠:約30分 13:30より) | 依存症とは&その治療                             |
| 5月22日  | A-2 | 横山 顕<br>(久里浜医療センター・医師)              |                            | 依存症と内部疾患                               |
| 6月26日  | A-3 | 松本 俊彦<br>(国立精神・神経研究センター・医師)         |                            | 処方薬と依存症                                |
| 7月24日  | A-4 | 尾崎 淳<br>(久里浜医療センター・sw)              |                            | 家族の関わり方<br>(境界線とイネーブリング)               |
| 8月28日  | B-1 | 西村 悟<br>(神奈川病院・心理)                  |                            | グループワーク①                               |
| 9月25日  | B-2 | 早間 文穂<br>(神奈川病院・sw)                 |                            | グループワーク②                               |
| 10月23日 | A-5 | 高橋 郁絵<br>(原宿カウンセリングセンター・心理)         |                            | 回復に繋がるコミュニケーション<br>(コミュニケーションの実践を学びます) |
| 11月27日 | B-3 | 井上 恭子<br>(県精神保健福祉センター・sw)           |                            | グループワーク①                               |
| 12月18日 | B-4 | 小林 千香子<br>(県立精神医療センター・sw)           |                            | グループワーク②                               |
| 2025年  |     |                                     |                            |  |
| 1月22日  | A-6 | 佐藤 しのぶ<br>(NFCRノンファミリーカウンセリングルーム代表) |                            | 依存症家族の心理                               |
| 2月26日  | A-7 | 小林 亜希子<br>(マインドフルネス心理臨床センター)        |                            | 相互支援グループの活用とセルフケア                      |
| 3月26日  | B-5 | 矢田 早苗<br>(アサーティブ・トレーナー)             |                            | 気持ちが楽になるコミュニケーション                      |
|        |     | 唯根 均<br>(RDP横浜・施設長)                 |                            | 修了式(別枠:約30分 16:30より)                   |

※都合により講師が変更になる場合があります